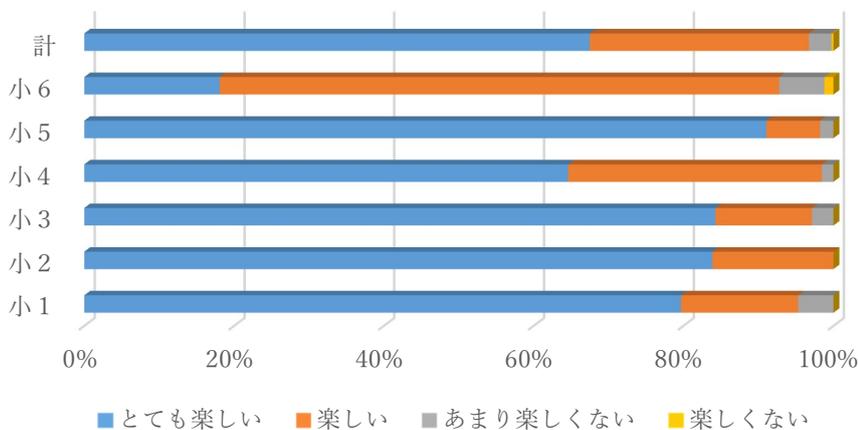


令和4年度外国語科に関する調査結果

天草市立亀川小学校

【児童へのアンケート結果より】

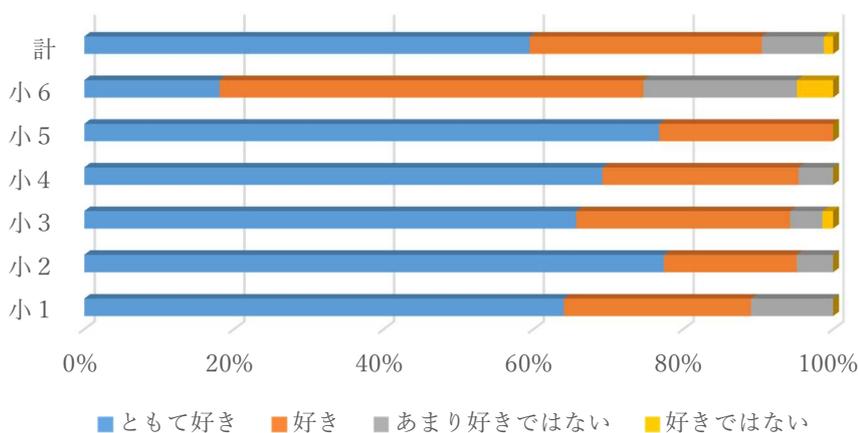
外国語の授業は楽しいですか。



学校全体のうち約97%の児童が、外国語科の授業は楽しいと答えている。児童がやってみたいと感じる単元のめあてを工夫し学習を進めている。

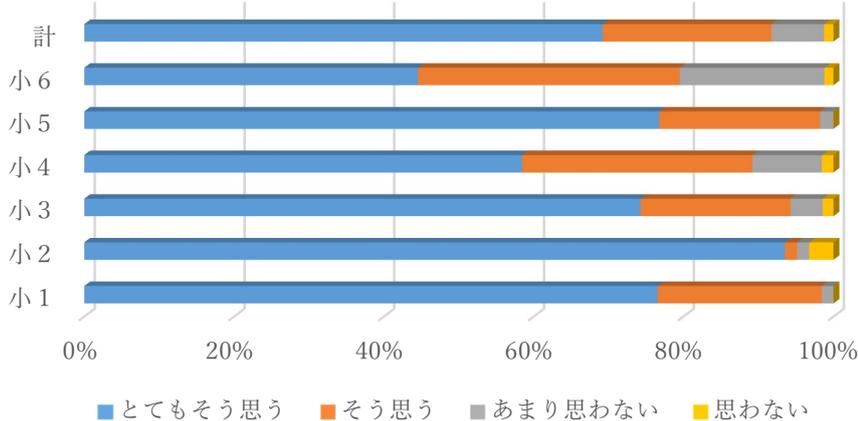
また、授業では、基本文の定着を図るために、ゲームだけでなくインタビューなどのやり取りや発表などの活動を取り入れ、楽しく意欲的に活動できる学習が展開されている。

外国語の授業は好きですか。



学校全体の約91%の児童が、外国語科の授業は好きと答えている。外国語科の授業では、帯活動であるコミュニケーションタイムやSmall Talkで教師やALT、友達と交流する活動や、歌やフォニックス、ALTによる文化紹介など様々な活動が展開され、児童の学習に対する意欲を高めている。

英語をもっと話せるようになりたいですか。



学校全体の約92%の児童が、もっと英語を話せるようになりたいと答えている。英語を使って教師やALT、友達と交流する活動だけでなく、校外のALTに自分の住む地域のよさを伝えるビデオを作成したり、同じ中学校に進学する楠浦小の友達への自己紹介ポスター作成等、体験的な活動を行ったりして英語で伝える喜びを感じている児童が増えた。

【保護者・学校関係者から】

- 家に帰ってくると、外国語の授業で習った英語や、授業の様子のことをよく話してくれます。習った英語を楽しんで生活の中でも使っています。発音が上手で、身近に外国の方がいるおかげだと思います。
- 小学1年生ですが、習った英語を家族にも教えてくれます。低学年から外国語の授業があるのは、とても良いと思います。
- 小さいころから、自然と英語を習っているので、英語や外国人に対する苦手意識も生まれなくていいと思います。
- 高学年になると外国語の内容が難しいと感じました。最近は英語を書く学習もしているようで、中学生みたいな学習をしているなと思っています。しかし、英語専科の先生やALTの先生に指導していただいているので、安心しています。
- 今後ますます社会はグローバル化と思うので、今のように小学校低学年から当たり前英語を習っていると、将来役に立つと思います。子供たちは外国の方々に会ったときに臆せず積極的に「ハロー」と英語の挨拶を交わし、会話をしているのですごいなと思います。
- 子供たちは、段階別に楽しく英語を聞いたり、話したり、書いたりして学んでいます。英語への抵抗感があまり感じられません。1年生から当たり前習っているので、あまり特別感がないのではないかと思います。このまま成長することで、中学校の英語科の学習にスムーズにつながっていけばうれしいです。